

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：太陽の子不動下保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 川本 裕子	定員（利用人数）： 50名	
所在地：〒231-0836 横浜市中区根岸町3-176-59パークビュースクエア1.2階		
TEL：045-629-0078	ホームページ： <a href="https://www.kidslife-nursery.com/">https://www.kidslife-nursery.com/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：HITOWAキッズライフ株式会社		
職員数	常勤職員： 12名	非常勤職員 5名
専門職員	保育士 12名	栄養士 2名
	看護師 1名	調理師 1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室（5） 事務所（1） 乳幼児トイレ（各1）、 みんなのトイレ（1）	沐浴室、0.1歳児床暖房、園庭、 乳幼児トイレ、みんなのトイレ

## ③理念・基本方針

太陽の子保育園

保育理念

～のびのび、すくすく、にこにこ～

子どもたち一人ひとりがたくさんの“大好き”に出会えるよう、こころとからだをすこやかに育ててゆきます。

保育方針

安心できる人間関係の中で、一人ひとりの違いを認めながら生活します。

整った保育環境の中で、仲間と喜びのある生活をし、自らルールを発見し社会性を育みます。

様々な経験や人との関わりの中で、自ら好きなものを発見し、健全な心身の発達を図ります。

いろいろな違いを体験する中で、広い視野をもった子どもを育てます。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

朝夕の合同保育時間や複数のクラスと一緒に散歩に出かけるなど、日常的に異年齢同士の交流があります。

各クラスに食育計画があり、0～2歳は食材の原型を知る。3～5歳児は、道具を使いこなすことを目的に食育を実施しています。ベランダのプランターで、野菜を育て味比べ等種まきから収穫までの過程を経験しています。また、日本の郷土料理や諸外国の料理が昼食として提供されています。月2回の専任講師による英語の時間「ふぁんぱりん」実施時に、その日学んだ国の料理を提供することで、より一層親しみを持てるよう工夫をしています。

他には「絵本巡回プロジェクト」があり、年齢や発達に合わせた絵本を系列間で巡回し、子ども達が普段目にしない絵本に触れることで子ども達の興味や関心が広がるようにしています。「巡回絵本」は年度末には園の絵本となり、毎年絵本が増える仕組みとなっています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月21日（契約日）～ 2022年2月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成29年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

##### 子ども一人ひとりを受容し状態に応じた保育を行っている

子どもの発達過程など一人ひとりの子どもの姿を把握し、子どもの気持ちに寄り添った対応に努めており、子どもが安心して気持ちを表現できるように援助している。少人数である特性をいかし日頃よりクラス以外の職員も関わりを持ち、園全体で子どもを保育することができるように取り組んでいる。保護者アンケートにおいても、「利用者個人の尊重」の3項目において大変高い満足度が得られている。

##### 看護師を中心に子どもの健康管理に取り組んでいる

看護師は毎日巡回をして各クラス全員分の連絡ノートを確認し、視診によって子どもの健康状態を確認している。日常の子どもの様子について知ることを心がけ、いつもと違う姿があれば早めの対応が出来るように努めている。子どもの発達状況に応じた健康指導も実施しており、手作りの紙芝居やクイズ形式などによってにわかりやすく伝えている。また、園内研修では、嘔吐処理、熱があるときの対応などについて保育士への指導にも取り組んでいる。

##### 園長は主体的保育の実践を目指し職員育成に注力している

園では組織の課題を抽出し園長主導の下、定期的に園内研修を実施している。今年度は環境構成にねらいを置き継続的に研修を実施することで、座学と実践が結び付き職員の質の向上に結びつくようにしている。職員は個々に目標設定をして面談を通して進捗状況を確認する中で、達成度の確認をしており、園長は具体的な行動に対し職員へ助言・アドバイスをして個々のスキルアップに繋げている。特に新人職員には2年目職員をエルダーにつけて指導を行い、その内容を園長あるいはクラスリーダーが把握して職員育成を行い、主体的保育の実践を目指し職員育成に注力している。

#### ◇改善を求められる点

##### 子どもが主体的に活動できる環境づくりに継続して取り組んでいる

子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を目指しており、今年度より園内研修で主体的環境について学び始めている。これまでの一斉保育ではなく、主体的な保育に取り組むために、園内外の研修を通して、職員一人ひとりが理解を深め研修で学んだことを保育現場に応用しており、継続して取り組んでいる。

##### 災害時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行うことを目標としている

事業継続計画や防災計画を整備し地元の消防署・警察・自治会などと連携した避難訓練などを行ない、子どもの安全確保のための体制を講じている。また、都度見直しをして職員や関係者に周知徹底するように努めている。コドモンシステムを活用し、保護者・スタッフの安否確認の仕組みを作り、さらに備蓄品リストの管理責任者は栄養士と定め、年2回備蓄の確認と補充を行なっている。毎月、避難計画を立案・実行しているが、実際に災害が発生した場合に職員が適切迅速な対応ができるか不安が残る内容だったため、防災のアドバイザーに計画を見直してもらい、全職員でより現実的な状況を想定した訓練を実施し、災害時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行うことを目標としている。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

全スタッフが「保育」を見直すことで運営方針や理念、今後園の目指していく方向性を再確認することが出来ました。

良いと思う点で、子どもの主体性を尊重している、異年齢交流、英語などのカリキュラム等高い評価を頂き大変嬉しく思います。

園にお寄せ頂いている信頼を継続し、課題点については真摯に受け止め、再度スタッフと話し合い改善に努めて参ります。

最後に、ご多忙にも関わらず利用者調査にご協力頂いた保護者の皆様、受審にあたりご尽力頂いた評価機関の皆様に

心より感謝申し上げます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり